

PDF issue: 2025-06-25

科研費基盤研究(S)の成果報告(活動報告)

奥村, 弘

(Citation)

Link: 地域・大学・文化: 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報,6:146-147

(Issue Date)

2014-12

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCDOI)

https://doi.org/10.24546/81008714

(URL)

https://hdl.handle.net/20.500.14094/81008714



科研費 基盤研究(S)の成果報告

关村 弘

研究開始当初の背景および目的と方法、そして 進めてきた。最終年度には、東京大学出版会よ 年度~二〇一三年度の五年間にわたり、 研究代表者:奥村弘)グループでは、二〇〇九 史資料学の構築」 を発刊し、研究成果を社会に向け発表している として、地域歴史資料学の構築に向けた研究を 学大学院人文学研究科地域連携センターを拠点 自然災害時の史料保全論を基礎とした地域歴 究成果につき報告したい 科学研究費補助金:基盤研究(S)「大規模 地域歴史資料学の構築 (奥村弘編『歴史文化を大災害から守る (研究課題番号:21222002、 -』二〇一四年 神戸大

研究開始当初の背景

心に初めての組織的な歴史資料保全活動が行わ阪神・淡路大震災において、歴史研究者を中

れ、歴史資料ネットワークが結成された。それれ、歴史資料ネットワークが結成された。以上のような各地の保全活動では、被災状況、地域社会の特質、保全活動の積み重ねなどに即した歴史の特質、保全活動の積み重ねなどに即した歴史の特質、保全活動の積み重ねなどに即した歴史された。

本研究の開始当初において、地域にいかなる本研究の開始当初において、地域にいかなる

一研究の目的

問われることになった被災各地を中心として、て地域歴史資料の保全をめぐる問題が集約的に本研究は、地震・大規模風水害の続発によっ

歴史資料の現状把握および各地で生まれた歴史資料保全論の比較検討を基盤とし、地域歴史を次世代に引き継ぎ、地域住民の歴史認識を豊か次世代に引き継ぎ、地域住民の歴史認識を豊かをした。

弘

研究の方法

本研究では、新たな地域歴史資料学を構築するために、各地の大規模自然災害による被災地の歴史資料保全論に焦点を当てる。そこで、被災地を中心に形成されてきた個別の歴史資料保全論を総括し、現地での調査・ワークショップを論を総括し、現地での調査・ワークショップを治を治し、現地での調査・ワークショップを含めて集中的には、神戸、新潟、宮城などで「被とった。具体的には、神戸、新潟、宮城などで「被とった。具体的には、神戸、新潟、宮城などで「被とった。具体的には、神戸、新潟、宮城などで「被とった。

域歴史資料学の構築を目指した。

「本の上で、この歴史資料保全論が歴史資料の保全論に具体的に対応することを通して、次世代の歴史研究を支える新たな地を通して、次世代の歴史研究を支える新たな地を通して、次世代の歴史研究を支える新たな地を通して、次世代の歴史資料保全論が歴史資料学の構築を目指した。

ンポジウムの開催など、積極的な研究成果の海また、ICA(国際文書館評議会)や国際シ

場

のから新

世界的に災害と社会変動が拡大する中で

資料保存につい

ż

るとともに、

外発信に努めた。

几 研究成果

活用を研究する新たな学として地域歴史資料学 な損失をもたらすと考え、 を構築することをめざした。 資料は滅失の危機にある。 单 研究を困難とし、 大規模自然災害と地域社会の急激な構造 日本の地域社会にある膨大な地 の成果の社会的な還 我が国 これは人文社会科 地 の人文社会科学の 域歴史資料 元にとっ て致 の 域 い保存 公命的 歴史 転

> 的に発信したこと 築をグロ シューとして 域歴史資料学構 バ 国際 ル

よる支援体制を端緒的 、資料学に組み込んだことである。 未来へと地域社会で継承され の中間で起こった東日本大震災での つなぐ体系的な研究手法を構築しえたこと /資料の保存と修復の新たな方法を地 たな課題を整序したことである。 研究者のみでなく地 研究を含め、 の保存活用の主体と考え、 第一に、地域歴史資料を過 全国的な研究者ネットワー それを可能とする具体的 理念と具体的な方法を提 に構築し、 地域歴史資料を次 域住民 7 さらにその 第三は、 ζ, が地域 くも その支 もま 歴史 -クに 域 Ō 去 歴

地域歴史資料学による手法

歴史

二は、

援

の

ため

Ó

して捉え、

その成果は、

域歴史資料

地域の歴史遺産 地域歷史資料 過去から継承 として未来に継承 活用 地域歴史文化の継承 保存 と発展 歴史研究の 災害に強い文化 地域住民 展開 <災害文化形成> 自然災害史と 文化財保 地域住民の保存 日本地域社会 活用支援研究 存科学研 史研究の展開 究の展開 文化財保存 歴史研究 アーカイブズ学 科学研究 大規模災害へ の実践的研究 の展開

構築された地域歴史資料学のあり方